

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-820	21-334	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
<p>Smoking, alcohol consumption and disease-specific outcomes in rheumatic and musculoskeletal diseases (RMDs): systematic reviews informing the 2021 EULAR recommendations for lifestyle improvements in people with RMDs</p> <p>リウマチ・筋骨格系疾患 (RMD) における喫煙、アルコール摂取と疾患特異的転帰： RMD 患者におけるライフスタイル改善のための 2021 年 EULAR 勧告に情報を提供する システマティック・レビュー</p>		
執筆者		
<p>Maud Wiecezorek^{#1,2}, James Martin Gwinnutt^{#3}, Maxime Ransay-Colle^{#2}, Andra Balanescu⁴, Heike Bischoff-Ferrari^{1,5,6}, Annelies Boonen^{7,8}, Giulio Cavalli⁹, Savia de Souza¹⁰, Annette de Thurah^{11,12}, Thomas Ernst Dorner^{13,14,15}, Rikke Helene Moe¹⁶, Polina Putrik^{7,8}, Javier Rodríguez-Carrío^{17,18}, Lucía Silva-Fernández¹⁹, Tanja A Stamm^{20,21}, Karen Walker-Bone²², Joep Welling²³, Mirjana Zlatkovic-Svenda^{24,25}, Suzanne Mm Verstappen^{#26,22,27}, Francis Guillemin^{#2,28}</p>		
掲載誌		
RMD Open. 2022 Mar;8(1):e002170. doi: 10.1136/		
キーワード		PMID
疫学、患者報告アウトカム指標、喫煙		35351808
要 旨		
<p>背景 EULAR タスクフォースは、リウマチ・筋骨格系疾患 (RMD) における生活習慣に関する勧告を策定するために召集された。本論文の目的は、RMD 特有の転帰に関して、喫煙と飲酒の関係についての文献をレビューすることである。</p> <p>方法 変形性関節症 (OA)、関節リウマチ (RA)、全身性エリテマトーデス、軸性脊椎関節症 (axSpA)、乾癬性関節炎 (PsA)、全身性硬化症 (SSc)、痛風の 7 つの RMD において、2013 年から 2018 年までに発表された喫煙およびアルコール摂取に関連したシステマティックレビューおよびメタアナリシスを確認するために 2 件のシステマティックレビューを実施した。喫煙や飲酒と疾患特異的な転帰に関する原著の縦断的研究を特定するために、さらに 2 つのシステマティックレビューを実施した。</p> <p>結果 喫煙に関する 9 件のレビューと 65 件の原著論文、および飲酒に関する 2 件のレビューと 14 件の原著論文が対象基準を満たした。ほとんどの研究が中等度または低度の質であり、喫煙はより悪い結果と関連していた。すなわち、心血管疾患の合併、RA 治療に対するより悪い反応、初期の RA における高い疾患活動性と重症度、axSpA の X 線写真の進行と有意に関連していた。OA については結果がまちまちであり、PsA、SSc、痛風については限られたエビデンスしかなかった。アルコールに関する研究は主に RA を対象としており、アルコール摂取と X 線写真の進行の間に正の相関があると報告していた。痛風のアルコール摂取を評価した研究は 5 件あり、アルコール飲料の数および種類と、発作の発生との間に有意な関連があることを報告していた。</p> <p>結論 現在の文献では、喫煙はいくつかの RMD 特異的アウトカムに悪影響を及ぼし、中等度または高度のアルコール摂取は RA および痛風のフレイルのリスク上昇と関連していることを裏付けている。</p>		